

（報告）

ア 小中学校体育館ネットワーク環境整備について

※教育施設課 ICT 教育推進担当課長から資料に基づき説明

（安田委員）今後のスケジュールは決まっているか。

（ICT 教育推進担当課長）現在、スケジュールを組んでいる最中であるが、今年度内に84校すべての整備を完了する予定である。

（安田委員）今後、教育委員会からの発信を全ての学校の体育館で一斉に受けることができるようになるということか。

（ICT 教育推進担当課長）論理的には可能である。例えばオンライン会議の映像を流して、体育館の大きなテレビに映し出すことはできる。

（安田委員）例えば音楽の大会のようなものも、学校間でネットワークを介してできるようになるということか。

（ICT 教育推進担当課長）その通りである。現在、学校間で教室同士の交流を行っているが、その場所が広がると思っていただければよい。

（神谷委員）ネットワークの問題はないか。回線を太くしたり、通信速度を速くする予定はあるか。

（ICT 教育推進担当課長）校内は既に高速ネットワークに対応する線がひかれているため、現在のところ回線を太くする計画はない。令和2年度に普通教室すべてにネットワークを整備し、特別教室への整備は今年度当初予算措置がされている。今回の体育館への整備が完了すると、学校の建屋内はすべて通信ができる状態になる。残すは運動場だが、物理的に線を這わせることが難しいため、現在モバイルルーターという持ち運びができる無線の機械を少数導入し、検証をしている最中である。検証が進み問題が無ければ、今後整備に向けて検討していく予定である。